



夜でもOK! 火と水さえあれば電気を作れる

出力7W! サバイバル発電鍋 試用レポート

脇澤 和夫
Kazuo Wakizawa

「鍋」による発電システムを紹介します。産業技術総合研究所の舟橋 良次氏が開発した最先端の発電デバイスが組み込まれていて、現在は(株)TESニューエナジーから「ファイヤーパワー」や「ワンダーポット」などの名前で発売されています。図1に使い方を示します。

今回は、夏のアウトドア・シーズンに向けて、この鍋とカセット・コンロを使って、焦げない炊飯&充電に挑戦しました(図2)。出力電力などでいくつかの種類が発売されていますが、今回は7W出力の「ワンダーポット7」を使いました。白いご飯が大変おいしいものであることを再認識しました。

発電できる鍋

● 特徴

太陽電池と違って、夜でも曇りの日でも同じように発電できます。携帯電話などの充電だけでなく、火(と水)があれば電力を取り出せるのは画期的です。値段は9,975円と小さな鍋としては高額ですが、煮炊きしながら電力が得られるので、工夫次第で用途は広がられます。

● カセット・コンロで7W出力を実測!

発電鍋の能力を確認しました。図3に、発電鍋から

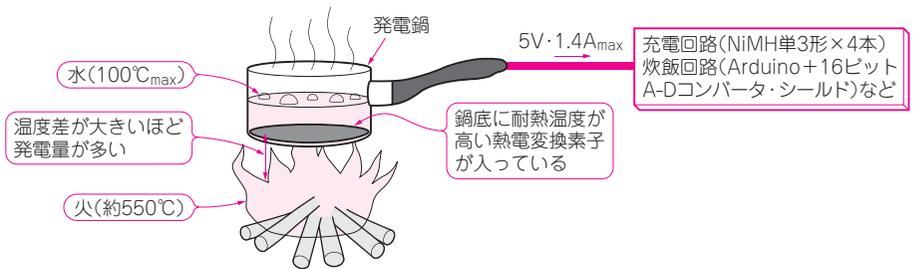


図1 発電鍋の使い方

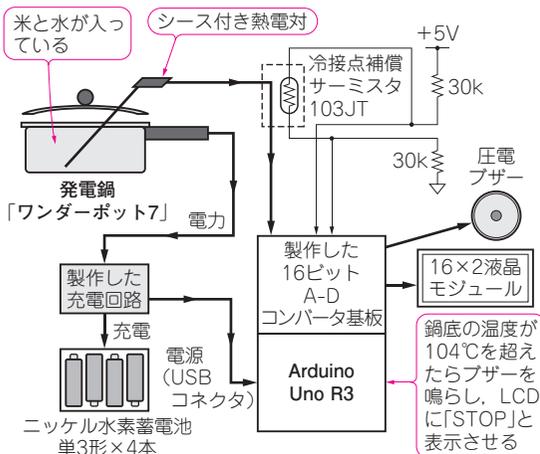


図2 発電鍋を使って炊飯の自動化に挑戦

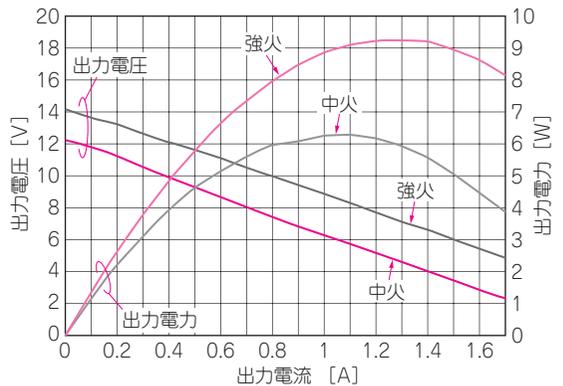


図3 発電鍋に加える火力と出力

★記事で使った発電鍋「ワンダーポット7」をプレゼント! [1名様]

発電鍋、鍋蓋、USB充電ソケット、携帯電話充電ケーブル、炎ガード金属プレートが同梱されています。応募方法はp.215をご参照ください。提供: (株)TESニューエナジー